

令和5年第3回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和5年 3月 27日 午後1時00分
- 2 閉会 令和5年 3月 27日 午後2時00分
- 3 会議に出席した委員
金田真也委員教育長職務代理者、太田孝雄委員
高崎佐智江委員、田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
鈴木欽也教育長
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課長 藤井 透
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第3回定例会議事日程

日 時 令和5年3月27日(月)

午後1時00分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 田原市議会第1回定例会一般質問について
- (3) 令和5年度教育方針について
- (4) 寄附について

4 報告事項

5 その他

開 会 午後 1 時00分

職務代理者

本日は、何かと御多用のところ御出席くださりましてありがとうございます。

ただいまの出席者は、4名であります。定足数に達していますので、令和5年田原市教育委員会第3回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

職務代理者

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と高崎委員の御両名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

職務代理者

続いて大きな2番目、教育長報告事項であります。本日は教育長が欠席されています。教育長報告については、お手元の資料のとおりであります。

職務代理者

では続いて、大きな3番目、報告事項に入りたいと思います。

教育委員の皆様の連絡・報告事項を順次お願いします。

初めに、私から報告させていただきます。

2月21日、東三河小中高特連携教育推進協議会に教育長と出席させていただきました。

この名前のおり、東三河の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の代表が集まって協議・連携して学校の魅力を発信していこうという会議です。背景には、東三河の生徒が西三河、名古屋と人が流れて行ってしまうということで、学校の魅力を発信できたというそのような感じで始まったそうです。

この会議は、平成29年から第1期が始まって、来年度令和5年度からは第3期が始まるそうです。第1期、第2期を振り返って、第3期をより充実させようという話合いがあって、そこに自分としては好感が持てました。

会議の最後の方に蒲郡市の進捗状況ということで、壁谷教育長さんから報告のあった内容がとてもすばらしいなと思ったので、この場を借りて報告させていただきます。

まず、報告のあった内容としまして、市内の小中学校を立て替えるときに、市立という呼び方をしていたのですけれども、市立特別支援学校を併設するということと、あと学校規模適正計画ということで、西浦地区の中学校を壊すに当たって、市民館を併設した複合施設の建設計画があるという、そのような報告を受けました。

何がよかったのかなと言いますと、今現在だけでなく10年先のことの地域と教育のことを考えた計画ということがすばらしいと思ったのと、田原市で複合施設ではないですけど、亀山校区が学校を出たら

すぐ市民館があるように、それに近い環境でお互いにいい環境を保つ、市民と学校がいい関係を保っているので、こういった施設があればいいなと思ったときに、蒲郡が計画を立てているというのを聞いてすばらしいなと、そのように感じさせていただきました。

21日、昼からは、田原市男女共同参画推進懇話会に出席させていただきました。議題は、田原市共同参画推進プランⅡの修正と、男女共同参画応募作品の審査について審議しました。最後の方で各委員の取組意見について、自分からは報告事項として、1月に行われた二十歳の集いについて報告させていただきました。男女共同参画ということで、式典の最中では気づかなかったのですが、その後写真撮影を行ったときに、成人者を近くで見ると男の人でも化粧をしている人が大分いたし、女の人でも2、3人はこういったスーツを着て、ショートカットにして、ボーイッシュな感じで参加しているのを見て、時代の変化を感じたのと同時に、それに対して全然違和感がなかったということを共同参画の会議で教育委員として報告させていただきました。

最後に、東部中学校と大草小学校の卒業式に出席させていただきました。涙を流しながら卒業生を送り出している担任の先生を見ると、いろいろな思い出であったり、苦労があったのだろうなというのが伝わってまいりました。また、これが先生しか経験できないすばらしい経験なのだろうなと、そのように感じました。

また、大草小学校に関しては男女混合名簿で今年から始まっていて、全く違和感なくやっていたのも印象的でした。

以上です。

それでは、太田委員よろしく申し上げます。

私は、3つの会議、行事に参加いたしましたので、御報告させていただきます。

最初に、2月17日に本日举行されました田原市教育委員会表彰の選考会に出席させていただきました。本日、表彰式を行いましたように、功労賞と殊勲賞の選考を行いました。例年、功労賞については、明確な数値基準等がはっきりしません。「ボランティア、研究活動等により教育の振興に対し15年以上協力し、特に功労として認められる者」という数値基準はありますが、それ以外については、「表彰することが認められる者」というような規定の仕方ですので、その基準に照らし合わせ、妥当かどうかについて選考会で意見が出た案件もありました。ですので、本日の功労賞に応募したけど、選考の結果で受賞できなかった方もおりました。

殊勲賞は、数値基準が明確ですので、それぞれの大会で優秀な成績を収めた方が本日の表彰を受けました。いろいろな分野のほうから推薦をいただくわけですが、やはり先ほどの功労賞をはじめとし

太田委員

職務代理者
高崎委員

て、一応内容について吟味確認をするということが選考会の前に必要ではないかという意見も出されました。

それから、卒業式について赤羽根中学校と若戸小学校に出席させていただきました。コロナが緩和されたということで、例年よりも来賓、保護者の数、在校生の数も多かったように思います。

赤羽根中学校で一番強く感じたのは、多様な生徒を受け入れているというような印象を受けました。具体的に言いますと、先ほどありました混合名簿もそうですけれども、女子でブレザーを制服として着用している生徒もいました。泉中学校との統合で制服も2種類あったり、体育館シューズ、それから靴下なども黒であったり、タイツも履いていたりということで、いろいろな服装の生徒がいたという。それから保護者の数もずいぶん以前に比べると多くなっているように感じました。

校長先生の式辞は、学校生活の場面を卒業生に取り上げて、それに対してスピーチをしてということで、生徒たちにはしみていく言葉であったと思います。

ほとんどの子たちがマスクを外しておりましたがそれでも、それでも2、3名の子はマスクをしている、それもいろいろな多様性を受けられている一つの表れではないかなと思いました。

それから若戸小学校の卒業式、卒業生11名ということで少人数ですけれども、大変厳かな卒業式だったように思います。校長先生のお言葉もとても心にしみるものでありました。保護者についても卒業生11名ということですが、大体2人で参加しており、来賓も例年に比べると多くの方々が参加していましたので、コロナが緩和してきたなと思います。

校長先生は、大変学校生活の中で心友、心の友ということを強調されて、これがずっと学校生活の中で子どもたちに訴えてきた言葉ではないかなということを思いまして、説得力のあるいい言葉だったように思います。

2日ともとても天気がよくて、明るくてさわやかないい卒業式だったように思います。

以上です。

続きまして、高崎委員お願いいたします。

私は、3月7日、田原中学校の卒業式、そして20日、衣笠小学校の卒業式、24日、子育て支援事業計画の会議、それから午後、田原市総合計画審議会に参加をさせていただきました。

まず、初めに両卒業式について申し上げます。

中学校、小学校ともにすばらしいお式でした。まず初めに中学校について申し上げます。

校長先生はじめ、先生方のとても熱い思い、そして細やかな配慮を

感じさせていただきました。校長先生のお言葉の中に、ウォルトディズニーそれから、アインシュタインについてのお話がありました。希望を持ってこれから人生を歩んで行ってほしい。そして、告辞の中に千賀選手のお話がありました。私自身も告辞に少し慣れてきたかなと思うのですが、皆さんの顔を拝見しながら今回読ませていただいて、真っすぐなまなざしに感動させていただきました。そして、最後に合唱が今年できて、そのことについて校長先生も喜んでいらっしやったのですが、校長先生としたら少し上の3年生の先生に配慮をとということがありましたけれども、それだけ熱心に考えていらっしやるのだなということをお見受けいたしました。

一つ気になったのが、送辞、答辞、それから指揮者、ピアノ、男女の話をする時代錯誤だとは存じておりますが、全て女の子でしたので、生徒の目線、親御さんの目線で考えると、このような時代ではありますけれども、性別の違う子が1人いてもいいのかなというような個人的な見解です。

そして、小学校の卒業式ですが、今年も立花校長先生が最後に先生の一番好きな歌、キャプテンを歌ってくださいました。これは、校長先生の思いが入っていると思うのですが、あなたたちなら何でもできるんだよ、そういったことを先生はいつもメッセージとして伝えていらっしやったのだと思います。

それから、私が小学校に着いたときにお迎えをしてくださったのが教頭先生で、小学校、中学校ともお世話になった先生がいらっしやったのですが、お迎えの教頭先生の雰囲気の中に、私が個人的な見解ですが感じさせていただいたのが、子どもが小学校のときに教頭先生が一番好きと言ったのを思い出したのです。これは、その先生が持っていらっしやる性格であったり、すばらしさによるのだろうなということを感じさせていただきました。そして、私が今回一番感じましたのは、校長先生の本当に地道な御努力でいらっしやると思うのですが、よく個の時代になり、時代も変わり、私たちが変わっていかねばいけないと思うのですが、自由の中にとっても難しいものがあるように思っています。ですが、ちょうどWBCが行われる頃、私たちの国民性を考えたときに、こうした儀式、これを本当にきちんと去年も今年もされていたこの規律というか、このすばらしい小学校6年生でこのすばらしい卒業式というのは、姿勢もいい、そして態度もいい、そして保護者さんたちも温かい、こうした儀式に対する国民性というか、こうしたものがものすごくこの子たちの将来にとっても財産になるのだなということを感じさせていただきました。

次に、20日の子ども子育て会議について申し上げます。

会長さんが花井前教育長さんだったということもあり、とてもスム

ーズに進行してくださいまして、突然意見をということでしたので少しびっくりしてしまっただけですけど、放課後児童健全育成事業それから保育園の利用定員の見直しについて、とてもスムーズに進行されていらっしやいました。最後に、皆さんの意見を活発にということ、子育て支援の久瀬先生であったり、スマイルという代表の方が親御さんの声、保育園に入学する前の親御さんの声をたくさん拾って、活発に意見を言ってらっしやったのが印象的でした。

次に、田原市総合計画審議会について申し上げます。

それぞれの各代表の方がいらっしやって、2回目ですがとても緊張感のある会議でした。そして、田原市の市民意識調査の結果、まちづくりに対する市民意見について、そして議題として会議録の公開、2番目に総合計画について、あと3番目に基本構想、素案についてのお話をさせていただきました。各回の代表の方がご出席されているとおり、とても積極的に皆さんそれぞれの意見をおっしゃっていて、司会進行を愛知大学地域政策学部の戸田教授がされていらっしやったものですから、それぞれの意見を活発に話し合いをする中、論理的に、学問的にまとめてくださり、田原市のすばらしい未来についてお話をされていたのではないかなと拝見しておりました。

最後に、これもまた突然、席順で一番最初に意見を言われるものですから、びっくりしてしまっただけですがただ、私がちょうど感じましたのは、WBCがあり、皆さん御承知のとおり、大谷選手をはじめ、日本のチームの大活躍があり、これからいろいろ日本の経済が低迷したりして、少し後ろ向きのムードになっておりましたが、こうしたいずれの会議にしても、未来に希望を持つということがとても大切なことではないかなと感じさせていただきました。

以上です。

ありがとうございます。

それでは田中委員、よろしく申し上げます。

3件報告いたします。

3月7日、福江中学校の卒業式に出席しました。私の次男も卒業でしたので、告辞を教育長にお願いしてとてもありがたかったです。

各小中学校一緒だったと思うのですが、来賓にJA愛知みなみさんから、立派なリングのコサージュをいただいて、とてもすてきでしたので、私、スプレー菊農家ですけど、花のまち田原としてさすがだなと思いました。

本年度は2年生だけですが、在校生も参加しており、送辞と答辞が読まれまして、やはり在校生が参加してくれると卒業生も今後の中学校を託す存在に強く意識が向いていいなと思いました。

校長先生の式辞は、中学校生活をコロナ禍で過ごした卒業生を気遣い、けれども当たり前前の日常に気づけ、失ったものもあるけど得られ

職務代理者

田中委員

たものもあったという、とても前向きなものでした。そして、卒業生に自分が生きている意味を考えると宿題を出されました。人生100年時代のうち学生生活はほんのわずかだと思いますが、とても濃い年月だと思います。これからの人生でつまづいたときや節目で、この校長先生からも宿題を思い出し、心の豊かな日々を過ごしてほしいなと思いました。

2件目に、3月20日に清田小学校の卒業式に出席しました。

卒業生は、私の末の息子の2学年下なので、児童も保護者も知っている人がちらほら見えて、我が子を送り出すような気持ちでお祝いさせていただきました。在校生は、4、5年生のみでしたが、やはり存在が大きいと思います。お別れの言葉や旅立ちの言葉で、バトンを引き継がれるような呼びかけ、とてもよかったです。

2点、清田小学校でいいなと、すてきなと思ったことがあります。1点目は、本年度かららしいのですが、卒業証書が筒ではなく、ブック型になっていて、都会的だなとか、大学生のようだなとوراやましく思いました。しかし、校長先生から伺ったところ、ブック型になっても証書が以前と同じそうで、結構畳んだときに折れ線がついてしまいそうということだったので、ブック型にするなら証書もデザインを変えて左右2枚にするとか、半分のサイズにするとか変えた方がいいのではないかなと思いました。

それからもう1点は、式典に参加することのできない児童に対して、校長室で来賓と保護者で小さく卒業式ができたのが、多様性を認めていただいて柔軟に対応していただいて、とてもよかったです。児童本人にとっても、保護者にとっても卒業式というのは大切な式典だと思いますので、今後もこういった対応を続けていただけるといいなと思います。

3件目です。

委員の活動ではありませんが、3月10日に福江中学校2年生の立志歩行の交通ボランティアに参加してきました。立志歩行とは、福江中学校の伝統行事で、中学2年生が将来への志をもって校区一周するという行事です。今年度は3月にしては暑いぐらいのとてもよい天気の中、班ごとに分かれて28.4キロを歩行していました。私は、友人と2か所交通ボランティアとして、生徒たちが安全な横断ができるように協力してきました。昼食前の生徒たちは、笑顔の子が多くカメラを向けるとポーズをしてくれたり、元気でしたがゴールまであと3キロという地点では、足を引きずる子や疲れた顔の子もいました。全ての生徒のゴールは、時間が開きすぎたので見届けることができませんでしたが、ゴールでは笑顔の生徒が多く、とても充実しているなという顔つきでした。いつもはつらつとしている校長先生でも、さすがにお疲れのような印象を受けました。

職務代理者

私の息子は割と体力があるほうだとは思いますが、靴下に穴が開いていたり、太ももが痛いと言っていました。仲間とわいわい話しながら、チェックポイントでおやつをもらったり、とても楽しかったそうです。地域のいろいろな方々を巻き込んでの行事ですが、教室やリモートでは体験できないすばらしい行事だと思いますので、来年度以降も応援したいと思います。

以上です。

ありがとうございました。

それでは次に移りたいと思います。

次に、報告事項（２）田原市議会第１回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いします。

教育部長

それではお願いいたします。

レジュメの３ページ目に、令和５年田原市議会第１回定例会提出議案ということで、議案の全部が載っています。こちらの下の方に番号で８号、９号が教育委員会に関係の議案です。８号が博物館条例の一部改正です。９番が田原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例ということで、博物館条例については、博物館法の一部改正に伴って、所要のものを行うものですが、これまでの博物館の事業にひとつは、資料のデジタル化というものを業務として行うことと、もうひとつは、博物館の職員の研修を行っていくこと、このような内容が組み込まれました。

９号の放課後児童健全育成事業の条例改正ですが、これについては静岡で、子どもがバスに置き去りになったという事件があったことから、その自動車の運行の安全関係を整備するというような条例改正でございました。こちらで議会の文教厚生委員会でも若干の質問がありまして、内容について確認するような質問でございました。

その他に、補正予算の議案もございました。

それでは、一般質問ということで、１、２ページをおめぐりいただきたいと思います。こちらに一般質問の一覧表ということで、全ての質問が載っています。

１ページ目は、田原市議団の代表質問ということで、自由民主党の田原市議団の村上 誠議員の令和５年度の市政方針ということで、今後の市政の進め方についての質問がありました。そして市民クラブのほうでは、同じく市政方針について質問がありまして、それぞれ細かい項目でそれぞれの質問がございました。

そして、個人質問ですが、次ページでございまして。全部で５問の質問がございました。１問目が、自民党の内藤喜久枝議員から、地域包括ケアシステムの深化・推進について。

そして、２番目は、公明党の辻 史子議員から、書かない窓口、投票しやすい環境の向上、子ども・若者・女性議会についてという質問

がございました。

3番目の自民党の真野議員につきましては、人口増加対策の質問でございます。次ページを見ていただきます。

4番目の小川貴夫議員については、防災対策についての質問がございました。

5番目のみんなの党愛知の岡本重明議員ですが、こちらの質問につきましては、各部にまたがるようないろいろな質問がありました。

大きなところでは、安全で快適な住みやすいまちづくりという大きな項目の中に

- 1、繁栄のバロメーターである中心市街地のにぎわいについて、
- 2、安定した農業経営の発展的な対応策について
- 3、駐在所廃止に伴う地域治安維持体制について
- 4、住みよいまちと環境について
- 5、学校給食について

6、こども園や保育園における生活習慣の習得に対する考え方についてという質問がありました。この質問自体が、一括で質問して一括で答えるという方法でありまして、1回ずつ答えのやり取りをするという質問方法ではありませんので、割と質問者の意見が言いやすいと言いますか、そのような方法になっております。

その中で教育委員会に関しましては、学校給食についてということで、質問がありました。次ページ以降は、それぞれの質問と質問の要旨ということで、どういう意味合いでこの質問をしているかということが書いてあるものでございます。今回、追加資料ということでA4の2枚刷りのものが追加で本日配られておりますので、それが今回の学校給食についての質問と答えになっております。こちらのほうをご覧いただければと思います。

学校給食について、学校給食における地産地消の推進状況と給食費の負担軽減対策について何うという質問です。その答弁の要旨としましては、3行目からですが、市では児童生徒に必要な栄養価を第一に、少しでも多くの田原産や愛知県産の地元食材を利用しながら献立の立案、物資の選定、調達などを進めております。具体的には、毎日食べる御飯は、田原で取れたJA愛知みなみのお米を使用し、毎日飲む牛乳は、田原、豊橋で搾乳されたものを利用しております。そのほか、野菜については、地元の青果納入組合や地元野菜の生産に取り組む「にんじんの会」、こちらは赤羽根で活動されている団体でございます。こちらのほうを中心に食材調達を進めております。

また、食育月間、給食週間、愛知を食べる学校給食の日などを設けて田原産の食材を一層取り入れた給食を提供するとともに、四季折々の食材を使い、児童生徒が食による季節感を感じられるような給食の提供に努めておりますということです。

これらの取組により地産地消率は、使用する食材の総品目数、点数ですと田原産、いわゆる地元産を使用する割合は40%ですが、これをカロリー計算してエネルギーベースにしますと、70%のものが地産地消ということで行っているという答弁をいたしました。そして、地元食材を給食に取り入れることというのは、健康や栄養の補給だけではなく、こちらは大変大事なことだと思うのですが、郷土である田原の食文化や歴史、農業などに触れることができる機会と捉えてやっておりますということで次ページになりますが、今後も地元食材を使った給食の提供に努めていきますということを回答しました。

質問の中に2つありましたので、その2点目の給食費の負担軽減対策ということで、こちらは物価高騰による給食にかかる費用も大きく影響を受けておりますので、その対策として令和4年度、今年度2学期から小学生で20円、中学生で40円程度給食にかかる経費の上昇分を市が負担をして、保護者への負担を抑えているということを回答しました。

また、地元食材を使えば、コスト低減につながるのではないかという内容もありましたので、実は、現状においても地元野菜が豊富にそろう冬場では、食材購入費は多少低く抑えておりますので、今後も少しでも地元食材を確保しながら、安心・安全な給食提供と給食費の負担軽減につながるように努めてまいりますという1回目の質問について答えました。

2番目は、地産地消を生かした給食を提供する中、少子化が進むことで給食の提供数が減少し、それに伴う今後、給食センターの余剰能力が予想されるということで、その分の余剰部分を高齢者の配食サービス、地産地消の弁当販売という新たな転換を図って、高齢者サービスの充実や観光振興につなげるとともに、その売上げを給食費に還元することにより、給食費の軽減あるいは無償化にもつながると考えているけどどうでしょうかと質問がありました。

これは岡本議員のアイデアとして、こういう提案があったということですが、それに対してこの3行目からですが、給食センターの余剰能力の活用については、学校給食以外の目的で使用するということのは、用途に応じた設備や人員、配送など、いろいろな準備が必要であり、また、それに伴う費用も当然発生してくる。また、もともと給食センター自体は、学校給食用として補助金をいただいておりますので、目的以外のことはできませんということを答えました。

ただ、最後の方に、次のページに書いてありますが、今後、当然状況が、社会が変わってくると、公共施設の合理的な運営ということでも必要と考えていますので、今後の社会情勢に合わせながら総合的に検討していく必要があるというような回答をいたしました。

令和4年度の第1回の定例会の一般質問についての報告でございま

職務代理人

す。よろしくお願いいいたします。

ただいま事務局の報告がありました。

御質問等ございますか。

田中委員

高齢者の配食サービスや弁当販売はとてもいいアイデアだと思うのですが、学校給食用施設として補助金を得ているため、目的以外の使用については国との調整も必要となりますということなら、高校の学校給食として使用するのはどうなのでしょう。

教育総務課長

確かにそういう考えも、内部で話は出ています。ですが、どこまでやるかやらないか、また、それを受け入れることができるかどうか、費用をどうするかということなど、まだまだ未知数の部分があります。例えば費用に関しては、提供するとなりますと配膳室が要ります。そうしますと、学校自体も改修しないといけないということと、それと、給食センターの給食を作る能力が1日で9,000食です。今、7,500食ぐらいを提供しておりまして、余剰能力が1,500食分ぐらいしかないものですから、市内3高校全部給食を作るというのは、現状ではできないということでありまして、それをどうするか。条件はいろいろあるかと思いますが、今後検討していく材料のひとつであるというように思います。ちなみに、既に潮風教室さんには、高校ですけど、提供をさせていただいております。

田中委員

ありがとうございます。

職務代理人

ほかに質問等よろしいでしょうか。

それでは、次に行きたいと思います。

(3) 令和5年度教育方針について、事務局から報告お願いいいたします。

教育部長

それでは、失礼いたします。資料をお願いいたします。先ほどの資料の次のページになります。

令和5年度教育方針ということで、毎年この時期に市の教育方針を示して、これに向かって各担当が業務を行っていくということで大事なことでございますので、この会で報告させていただきたいと思いません。

令和5年度教育方針は、「今を充実し 未来を拓く ふるさと教育」ということで、アフターコロナの次代におけるふるさと教育の深化ということ。重点目標につきましては、日常生活に充実感を実感できる教育活動を展開します。過去に学び、未来へ夢をかける教育施設を推進します。各組織が連携し、問題解決に向け前進しますということでございます。こちらは、教育長の大きな思いがございまして、次の裏面を見ていただきたいと思います。こちらにふるさと教育の捉え方ということで、ふるさと教育の捉え方が非常に限定的ではないかということがありまして、狭い意味では郷土学習が中心となるような捉え方をしているのですが、広い意味では、子どもから大人、高齢者ま

教育総務課長

でこのまちで充実した日常が送れること、特に教育長は、この充実した日常が送れることというのは大変重要視しております、この自分のまち、我がまち田原で生活することの喜びを実感できるような教育ができたらいいなと、そういう思いで今を充実という言葉もすごくこだわって、メインタイトルに掲げたということでございます。

重点目標の中の、日常生活に充実感というのは今説明したところから出たものでございます。

それではこれを基に、各課が目標を立てていますので、各課で順番に説明をお願いします。

時間もありますので、簡単に説明させていただきます。ご了承くださいたいと思います。

1番目の教育総務課です。良好な教育環境づくりということで、主に3つの点をポイントに来年度進めていきたいと思っております。

1点目、田原市総合教育大綱教育振興計画等の着実な推進、これは、教育委員会全体のかじ取りをしっかりと行っていきたいと思っております。

2点目、学校施設の長寿命化対策と計画的な整備、改修、快適な学習環境づくりの推進、これにつきましては、前回の委員会でもお話ししたとおり、小中学校に特別教室のエアコンを整備いたします。

また、来年度は、童浦小学校の体育館の改築、あるいは清田小学校の体育館の改修、そして、福江小学校の校舎の改修が本年度から引き続いて来年度も行います。かなり高額な費用がかかってまいりますので、もちろん太陽光発電であったり、あるいはバリアフリーであったり、このようなことも併せて総合的に学習環境の充実を進めてまいりたいと思っております。

最後、3点目、給食費の改定を含む学校給食の充実と保護者負担の軽減対策の検討ということで、既に今日の中日新聞の一面でも給食費の無償化というのが出ておりますが、給食費の改訂、実質どのぐらいかかるかということをしちんと効果測定をした上で、それについて負担をどうするかというのをロジスティックに検討していく必要があると思っておりますので、この1年、できれば半年のうちに検討して、また教育委員会場で皆さんに御検討していただければというように思っております。

以上の3点を中心に進めてまいりたいと思っております。

続いて、学校教育課です。

テーマは、「ふるさと田原で子どもがきらり輝く学校教育の充実」、これは本年度と引き継がせていただきました。学校教育推進計画のテーマでもありますので、これを大事にしていきたいと思っております。

具体的な目標としては3点。

まず1点目は、各校の特色を生かしたふるさと学習の推進、各学校

学校教育課

での人ですとかもの、こと、などを大切にしておくことと学習をさらに推進していただきたいということで、これが1つ目の重点目標とさせていただきます。

2点目は、課外活動の地域移行の実現ということで少し大きなテーマになっていますが、部活動については、小学校は来年度まで、中学校は令和7年度にかけて休日の部活動が減っていくということで、平日の業後、あるいは休日の活動、こちらについて具体的にどのような形にしていくのがよいのかというあたりを学校教育課だけではないですが、進めていく必要があるということで2つ目の目標として掲げさせていただきます。

3点目は、家庭、地域とともにある学校づくりの推進ということで、これはコミュニティスクールも視野に入っておりますが、無理して急いでコミュニティスクール化するという意味ではなく、どこの学校についても地域とともに進めていくということとはとても大切なことですので、地域学校共同活動をどこの学校でも進めていってほしいということで、3つ目の目標として掲げさせていただきます。学校が地域にお願いするだけではなく、地域も、地域のことを学校にどんどん周知していただきながら、共に進めていけるといいなと思います、この目標にさせていただきます。

以上です。

生涯学習課長

続きまして、生涯学習課です。

目標は、「未来につなぐ生涯学習の充実」ということで、まずはふるさとの歴史・文化、産業、人材を生かした学びの推進ということにポイントを置き、さらに地域学校共同活動の推進ということで、地域、学校、社会教育の連携を行い、学びを支える環境の計画的な整備を行っていききたいということでございます。

以上です。

スポーツ課長

続きまして、スポーツ課です。

括弧書きのスポーツの力で地域との絆づくり、これは本年の引き続きで実施していききたいと考えております。

まず1点目、スポーツに親しむ機会の充実とスポーツ人口の拡大ということで、やはりスポーツ人口が減っていると言われておりますので、いろいろなスポーツを実施していきながら、スポーツの楽しさを知っていただいて、スポーツ人口の拡大を目指していきます。

2番目が、こちらが新しくなりますが、スポーツ振興や健康づくり地域活性化を図るため、市民プール建設に向けた調査を実施いたします。こちらは、場所につきまして福江町を予定しているところですが、どのような規模のものにしていくのか、どのような形にしていくのかなどいろいろな事項につきまして、PFIを含めた調査の実施を考えております。

文化財課長

3番目、こちらも一部追加になっております。

各種スポーツの全国大会等の開催と、合わせて一流アスリートの指導によるスポーツ意識の向上です。こちらの全国大会等の開催の目標は例年どおりです。また、予算の範囲内ではありますが、いろいろな種目で各部門の一流アスリートについて、社会人、大学生関係なしに、そのような選手たちを招いて、いろいろな子どもたちと直接触れ合ってもらって、技術の指導や心構え等を教えてもらうことによって、スポーツ意識を向上してもらい、一層スポーツレベルを高めていきたいという考えで実施していきたいと思っております。

以上です。

続きまして、文化財課になります。

文化財課も昨年とほぼ変わらない目標を掲げております。大きな目標として、「守り伝え感じるふるさとの文化財の継承」としてしております。

1つ目の項目ですが、ふるさとの文化財の研究調査、整理、保護管理体制の充実としております。これにつきましては、文化財保護の根幹をなすことになるものですから、引き続きこの目標でやっていきたいと思っております。

2点目につきましては、博物館資料のデジタルアーカイブ化による公開促進と活用の推進としてございます。これにつきましては、今年度博物館資料をデジタルアーカイブに一部しまして、公開も何とか行っていくことができてきました。それをさらに推進して、ふるさと教育、ふるさと学習に活用していこうという目標を来年度考えております。

それから3点目、文化財を活用した学校・地域との連携の充実強化でございます。これにつきましても、引き続き文化財を学校、地域の方に活用していただき、連携をしていきながらふるさと教育、学習に役立てていただいて、それを強化していこうというものでございます。

以上です。

図書館長

図書館です。

テーマとしては、「生涯読書の振興とふるさとに関する情報の収集と発信」ということで、テーマについてはあまり変わっておりません。

1点目ですけれども、田原に関する歴史、文化資源のアーカイブ化と利活用の推進ということで、田原に関する歴史や文化というのは私たちにとって貴重な資源であると捉えまして、それをしっかり掘り起こして保存、継承して市民の皆様と新しい価値あるものとして、活用していくことができるようにしたいと考えております。

2点目です。施設の改修による地域の情報・交流拠点としての魅力向上ということで、令和5年度は中央図書館の空調更新、LED化改修工事、そして、渥美図書館のLED化の改修工事を控えております。そのようなことを通じて、場所としての図書館の魅力を向上して、た

くさんの方に利用していただきたいと思っております。

最後、3つ目ですけれども、図書館サービスを通じた市民のウェルビーイング向上と地域活性化ということで、ウェルビーイングというのは、健康とか福祉とか幸福というようにも訳されるのですけれども、私たちの図書館サービスを通じて、そういった市民の方の幸福に貢献して、生き生きと地域で活躍していただけるようにしていきたいと考えしております。

以上です。

教育部長 令和5年度の教育方針の説明については以上でございます。よろしくお願ひします。

職務代理者 ただいま事務局の説明がありました。御質問等ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、次に行きます。

（4）寄附について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長 次の資料、令和4年度教育関係寄附一覧ということで、今回一番下のほう2点でございます。

最初のナンバー12を私から説明させていただきます。

2月10日に赤羽根小学校厄年一同のみなさんから、赤羽根小学校に、軽量折り畳み椅子を23脚いただいております。約20万円相当額の寄附をいただいております。

大変ありがとうございました。

文化財課長 続きましてナンバー13をご覧ください。寄附の年月日につきましては、3月23日、寄附者は坂文種報徳会様でございます。寄附先につきましては、吉胡貝塚資料館、目的は教育・文化振興のためということでございます。

具体的な内容につきましては、施設整備用の備品、展示用備品の購入のため、金100万円の寄附金をいただいたということでございます。具体的に申し上げますと、坂文種報徳会が県を通じまして、県内の博物館とか美術館に毎年、場所を決めて100万円の寄附を行っているところで今回、44回目の寄附になりまして、44回目にして田原市が選ばれたということになりました。もう既に購入しております、吉胡貝塚で使用する大型の草刈り機75万円相当とLEDのスポットライト3台を購入させていただいております。具体的な写真がつけてございませんので申し訳ないですが、大型草刈り機とLEDのスポットライト3台を既に購入させていただいて、活用させていただくということになっております。

以上です。

職務代理者 ただいま事務局の説明がありました。

御質問等ございますか。

御質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

職務代理者
教育総務課長

次にその他ですが、事務局から何かございますか。

よろしくをお願いします。

引き続き、次の資料です。教育委員出席日程（案）についてという資料を見ていただきたいと思います。

5月12日までの日程表を添付してございます。本日3月27日、この後2時半から総合教育会議を行います。御出席をお願いします。

年度末は少し忙しくなって大変恐縮ですけど、年度末の日程は裏面を見ていただきたいと思います。3月31日と4月3日、詳細にタイムスケジュールをつけて記載してございます。

まず、3月31日、今週の金曜日ですけど、10時から教育委員会臨時会を行います。終わり次第11時から教職員退職辞令交付式に御参列をお願いしたいと思います。なお、臨時会の場所はこの庁舎の6階の600会議室で行いますのでお願いしたいと思います。

土日ははさみまして、翌週4月3日になります。この日は10時15分からスタートです。最初に教育長、教育委員さん、管理職の顔合わせ会を行います。これも600会議室でございます。

その後、顔合わせが15分ぐらいで終わって10時半から教育委員会の事務局職員の辞令伝達式が6階のその隣の講堂でございます。

30分後、11時から教職員辞令伝達式、これは新任、転任の校長先生、教頭先生でございます。

11時20分からは、一般の教職員の辞令伝達式を行います。

朝、10時15分からお昼までかかるかと思えます。御予定をお願いしたいと思います。

また、戻っていただきまして中段より下、4月6日につきましては、東三河の教育委員会代表者会議がでございます。

4月の定例会は、今のところ4月12日に第4回の定例会をこの場所、政策会議室で予定しております。機構改革、組織改革がございまして、従来会議を行っていた200会議室が農業委員会の事務室になってしまったものですから、会議の場所をどこにしようか今、調整している状況ですけど、適切な場所がまた見つかりましたらなるべくそこできるようにしますが、すみません4月12日につきましては、この政策会議室を予定しておりますのでよろしくをお願いしたいと思います。

また、5月12日につきましては、第5回の定例会を予定しております。時刻が15時30分からということで、よろしくをお願いしたいと思います。

以上で日程の説明を終わります。

他によろしいでしょうか。

ただいまの報告について、質問等ございましたらお願いします。

職務代理者

特にないようですので、委員の皆さんから何かございましたらお願いいたします。

他によろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了しました。

御協力ありがとうございました。

これをもちまして田原市教育委員会第3回定例会を閉会させていただきます

閉 会 午後 2 時 00 分

教育長

委員

委員